

議会報告会報告書

開催日時	平成26年4月25日（金） 午後7時00分～8時30分		
開催場所	北下浦コミュニティセンター		
出席議員	代表者	青木哲正	
	司会者	加藤真道	
	報告者	鈴木真智子 長谷川昇 伊藤順一 伊関功滋 大村洋子 山城保男	
	記録者	鈴木真智子（パソコン操作：山本文夫 受付：山口道夫）	
参加人数	6名		
報告内容	<p>（質問・回答）</p> <p>Q 人口減少の原因と対策について。</p> <p>自然減と社会減の差が全国一となってしまった。職場が少ないと言われているが、シティセールスの方でのアンケート結果を踏まえて、現在分析中です。新築マンションの数が少なかったとも考えられています。対策については子育て世代に対するシティセールスとして検討中です。</p> <p>Q 職場が少ない。横浜、川崎で就職すれば、自ずから居住もそちらになってしまう傾向はあるのではないのか。</p> <p>A 議会においても、働く場がないことで住民が住むのかという議論がありました。</p> <p>Q 人口減は税収減に直結する。財政赤字にならないような対策はどうなっているのか。</p> <p>財政基本計画の中で財政調整基金は積み立てを行って増額になっており、予算の増額は消費税に対する低所得者や子育て世帯への臨時一時給付金の部分や下水道料金の改定による部分もあります。借金の返済については、借りるより返す方が多いように財政規律を守っていて、基金も増えています。</p> <p>Q 下水道事業費が増えているのはなぜか。</p> <p>A 10月から使用料が値上げになるため、予算の規模が増えています。</p> <p>Q いじめ対策の金額が少ない。子供を守るための予算が少ない。</p> <p>A 条例を作るための予算なので多額の予算とはなりません。</p> <p>Q ティポディエ邸はどこにあるのか。</p> <p>A ベースの中にあったものを解体して、現在は総合高校の中に保管してあります。</p> <p>Q 予算が2億9000万、ハコモノを作る意味はあるのか。</p> <p>A 材料だけある状況で、財源をどうするのかは、まだ決まっていません。</p> <p>Q 集客プロモーションについて、海外からの集客はどこを考えているのか。</p> <p>A タイを考えています。カレーを通じた食文化と防大に留学生が多いということで、検討しています。</p> <p>Q 物価が安いタイからわざわざ観光に来るのか。</p> <p>A タイ国にしばらくの必要はありません。案内板などの環境づくりが必要となります。</p> <p>（意見・要望等）</p> <p>ベースの人との交流が大事。ベースの奥さんとか若い人に英語の講師になっていただき、若い学生さんと交流してもらおうと日本のいいところもわかってもらえる。本国に帰ってから良さを広めてもらい、旅行にきてもらえる。交流が大事だと思う。</p> <p>② ごみを側溝に捨てる人がいる。グレーチングに引っかかるので、コンクリートに変えて欲しい。また、除草をマメにやってもらいたい。</p> <p>③ ナショナルトレーニングセンター誘致の動きと勝算の有無について。</p> <p>Q JOCと体育協会との体制を整え準備の段階に入っています。経済界、議会、国、県、市、ワイハート地区の地権者で③ある西武も合意しています。東京都北区では施設が足りないのので、海の世界を持つ浦賀や北下浦などは練習会場としてAでの使用を含めて検討段階です。また、羽田からの距離と、電車・車のアクセスの面で有利であり、他の自治体の動きも見当たらないため、優位性があると見込んでいます。</p>		

横須賀市議会議長 様

平成26年5月9日

上記のとおり報告します。

代表者 青木 哲正